

外郭団体に対する補助金に関する第三者評価結果

1 目的

外郭団体に対し支出している補助金について、外部有識者による客観的な評価・検証（以下「第三者評価」という。）を行うことで、補助金支出の透明性・公平性を確保するとともに、外郭団体の効果的・効率的な事業運営につなげることを目的とします。

2 評価者

厚木市行政改革調査委員会 外郭団体補助金評価部会

※委員一覧

(50 音順)

氏名	区分	備考
奥吉 靖	委員(学識経験者)	アンリツ(株) 人事総務部 総務チーム部長
奥脇 篤仁	委員(学識経験者)	自治会連絡協議会 副会長
執行 裕子	委員(学識経験者)	税理士
土野 颯一郎	委員(学識経験者)	(株)浜銀総合研究所 執行役員

3 評価対象

次の外郭団体に対する事業費補助金とします。

補助金名	補助団体名
文化推進事業費補助金	(公財)厚木市文化振興財団
厚木市スポーツ推進事業補助金	(公財)厚木市スポーツ協会
あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金	(公財)厚木市スポーツ協会

4 実施時期

令和4年9月

※部会での審議経過

日程	内容
令和4年8月26日(金)	外郭団体所管課(以下「所管課」という。)の評価及び外郭団体から提出された補助金申請書・実績報告書の確認
令和4年9月28日(水)	所管課職員及び外郭団体職員に対するヒアリングの実施

5 評価項目

実績報告書に基づき所管課が行っている、次の3つの視点による評価が適切に行われているかについて、評価部会に評価をしてもらいました。

- (1) 事業は申請どおり実施できているか。
- (2) 事業の実施によって、期待した効果をあげることができているか。
- (3) 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳に違いはないか。

6 評価結果

評価対象の補助金については、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した事業もあるが、規模を縮小するなどの工夫を講じながら事業は実施されていることから、「事業は概ね申請どおりに実施できていると思われる」との評価を受けました。

一方、「事業の実施によって、期待した効果をあげることができているか。」、「実施計画書と実績報告書の活動費の内訳に違いはないか。」の評価については、補助金で実施する事業に目標値が設定されていないことや、補助金申請時の事業費内訳に対する決算額（補助金充当額）が分かりづらいことから、「どちらともいえない」との評価を受けました。

また、「所管課が補助金の効果を客観的に評価するためには、定量的な評価も必要であることから、補助金申請時及び実績報告時に次の事項について把握し、適切な評価につなげていただきたい。」との意見をいただきました。

- (1) 補助金申請における事業ごとの目標値と事業費内訳（事業収入・自主財源充当額・補助金充当額の内訳）
- (2) 補助金実績報告時における目標値に対する事業ごとの実績値と決算内訳（事業収入・自主財源充当額・補助金充当額の内訳）

7 委員の主な意見

(1) 文化推進事業費補助金

ア 評価項目「事業は申請どおり実施できているか。」について

- ・事業の実施状況について、計画どおり実施できなかった事業はあるが、中止となった理由が新型コロナウイルス感染症拡大によるものであることから、事業は概ね申請どおり実施できていると思われる。

イ 評価項目「事業の実施によって、期待した効果をあげることができているか。」について

- ・補助金の効果を適切に評価するためには、補助対象事業について入場者数など何かしらの目標値の設定が必要だと思われる。
- ・補助金交付要綱の中で補助金交付の趣旨が示されているが、事業の効果を評価する際に、目標値等が定められていないため、客観的な評価ができなかった。

ウ 評価項目「実施計画書と実績報告書の活動費の内訳に違いはないか。」について

- ・中止した事業があったにもかかわらず、事業費全体の支出額に変動はなかった。その理由として、中止した事業のキャンセル料の発生等を挙げられているが、これは当初予定していた事業実施のための支出ではないため、実際の支出から見て、計画から多少の変更はあったものと思われる。

エ その他の意見

- ・事業が申請どおりに実施されているか確認するためには、事業ごとの目標値や事業費内訳が必要だと思われる。
- ・補助金が申請どおりに使用されているかを確認するためには、事業ごとの補助金充当額の内訳等が必要だと思われる。

(2) 厚木市スポーツ推進事業補助金

ア 評価項目「事業は申請どおり実施できているか。」について

- ・事業の実施状況について、計画どおり実施できなかった事業はあるが、中止となった理由が新型コロナウイルス感染症拡大によるものであることから、事業は概ね申請どおり実施できていると思われる。

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、いくつかのイベント等が中止となっているため、事業はあまり申請どおりできていないものと思われる。

イ 評価項目「事業の実施によって、期待した効果をあげることができるか。」について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になったイベント等があるが、開催したイベントについては一定の参加者を得ており、生涯スポーツの普及促進という点において一定の成果はあったものと思われる。
- ・スポーツ協会加盟団体の発展という目的で、加盟団体に対し助成金を交付しているが、その効果を判断するための目標値等がないことから、期待した効果があるのか評価できなかった。

ウ 評価項目「実施計画書と実績報告書の活動費の内訳に違いはないか。」について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止があり、当初の計画どおりに事業が遂行できていないため、補助金の支出の内訳に多少の変更があったものと思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止に伴い、補助金の余剰金は市に返還されており、適切に対応されているものと判断できる。

(3) あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金

ア 評価項目「事業は申請どおり実施できているか。」について

- ・事業の実施状況について、計画どおり実施できなかった事業はあるが、中止となった理由が新型コロナウイルス感染症拡大によるものであることから、事業は概ね申請どおり実施できていると思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業が中止になったことは致し方ないが、計画された事業に比べて中止事業がかなり多かったため、事業はあまり申請どおりできていないものと思われる。

イ 評価項目「事業の実施によって、期待した効果をあげることができるか。」について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった事業があるが、開催したイベントでは一定の参加者を得ており、かつ、参加者の満足度も高い点は評価できる。
- ・補助金の目的が国際大会レベルのアスリート及び指導者の育成なので、中止した事業数が多いことを考えると、十分な効果があったとは言い難い。

ウ 評価項目「実施計画書と実績報告書の活動費の内訳に違いはないか。」について

- ・事業中止により事業運営費が当初の計画に対して6割程度になるなど、実際の支出に変更が生じているが、新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止という事情を考慮すると、大きな問題はないものと思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止に伴い、補助金の余剰金は市に返還されており、適切に対応されているものと判断できる。